

京都大学アカデミックデイ2019



Dialog with the Public

『研究者の本棚』 ブックリスト



項目説明

ブックリストとは・・・京都大学研究者のオススメの本を紹介します。

※一部を除き、紹介した本は「研究者の本棚」で展示しています。

- ブース番号 出展者のブース番号
- 出展者等 ・出展区分
『研究者と立ち話(ポスター／展示)』
『ちゃぶ台囲んで膝詰め対話』
『お茶を片手に座談会』
『トーク企画「研究者、自著を語る」』
・出展代表者の所属・職名・氏名
- 出展タイトル 出展研究者の出展タイトル
- ジャンル ※今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本
※今ハマっている本(誰かとこの本について話したい)
※若者にお勧めしたい本
※自分の研究に関連して紹介したい本の4つから選択していただきました。
- 書名／著者名／出版社名 オススメする本の書名／著者名／出版社名
- 推薦理由、コメント、エピソード等 オススメする理由、コメントなど
- 『書名』の横の★★ 『研究者の本棚』コーナーに展示あり



ブース番号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
1	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院工学研究科・教授 横川 隆司 「デバイス内で動き出す新しいイノチ」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『Fundamentals of Microfabrication and Nanotechnology』 Marc J. Madou CRC Press	修士課程の時に留学したUCLAで教科書として使われていました。この本から、マイクロ・ナノの世界を体系的にとらえるようになりました。京大の大学院でも、このような英語の教科書でワールドクラスの講義ができるようになることを期待しています。
		今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『小説東京帝国大学』 松本清張 筑摩書房	移動中など時間を見つけて清張作品を読むのが趣味です。単なる推理小説ばかりでなく、フィクションからノンフィクションまで昭和の間の部分や人間性についての描写が、日常の喧噪を忘れさせてくれます。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『生体分子モーターの仕組み』 石渡信一 共立出版	異分野の研究者がモータタンパク質(生体分子モーター)について学ぶのに最適です。日本の研究者が主導してきた、一分子生物物理学の分野からとらえたモータタンパク質についてわかりやすく書かれています。
2	研究者と立ち話(ポスター/展示) 国際高等教育院・准教授 金丸 敏幸 「意味から英語を組み立ててみよう!」	自分の研究に関連して紹介したい本	『「意味順」英作文のすすめ(岩波ジュニア新書)』★★ 田地野 彰 岩波書店	今回ご紹介する英語学習メソッドを易しく解説した本です。難しい文法用語を使わずに、日本語から英語を組み立てるといふ「意味順」のコンセプトが豊富な例文とともに紹介されています。
4	研究者と立ち話(ポスター/展示) 霊長類研究所・教授 明里 宏文 「人類はエイズを克服できるか?」	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『はたらく細胞 BLACK』★★ 原田 重光 講談社	ストレス社会で不摂生を続ける現代人の体内で細胞たちが苦しみながらはたらく様はまさにブラック企業そのもの。ストレス下の体内の状況を学べるのはもちろん、自分への戒めにもなる一冊でした。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『ホットゾーン』★★ リチャード・プレストン 飛鳥新社	エボラウイルスのパンデミックの生々しい描写とそれに立ち向かう研究者の姿には心動かされます。
6	研究者と立ち話(ポスター/展示) 文学研究科・准教授 千葉 豊 「大学の地下から考える地域の歴史」	自分の研究に関連して紹介したい本	『通論考古学』★★ 濱田耕作 岩波書店	日本における体系的な考古学の概説書として、最初に刊行されたもの。1922年の出版から94年を経た2016年に文庫化。日本で考古学を学ぶ者は、必ず1度は目を通すことを求められる、ある意味「懐かしい」書籍。しかし、発掘調査や、遺跡・遺物の研究と活用を進めるうえでの知識と理念の基本が漏れなく説かれる本書は、時代を経て、科学技術がいかに進歩しようとも、繰り返し紐解かれるべき書籍であることがわかります。
7	研究者と立ち話(ポスター/展示) 学際融合教育研究推進センター・教授/教授 田中 庸裕/田中 功 「元素戦略プロジェクト」	自分の研究に関連して紹介したい本	『元素戦略』★★ 中山智弘 ダイヤモンド社	元素戦略プロジェクトのプログラムオフィサーが著した本で、「元素戦略」のねらいがよくわかる。
9	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院医学研究科・大学院生命科学研究科・教授 松田 道行 「ミクロな細胞と会話する光技術」	自分の研究に関連して紹介したい本	『みんなのArduino入門』★★ 高本 孝頼 リックテレコム	イタリア発で世界的に普及した汎用マイコンボードArduinoの入門書。コンピュータとArduinoが1台あれば安い部品と簡単な工作、初歩的なプログラミングで驚くほどたくさんの便利なおもちゃ、実用的な電子工作などが作れます。研究の現場でも使用中(佐藤)
10	研究者と立ち話(ポスター/展示) 白眉センター・大学院生命科学研究科・特定助教 林 真理 「テロメアから考える細胞のがん化」	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『全国民が読んだら歴史が変わる 奇跡の経済学教室 [戦略編]』★★ 中野 剛志 ベストセラーズ	まずは前作の[基礎知識編]を読むほうがわかりやすいかと思えます。お金や経済について、テレビや財務省とは違う見解を与えてくれます。私にはこの本の内容のほうが正しく思えますが、ぜひ、経済について考えるきっかけとして読むことをお勧めします。研究費をめぐる財務省と大学のやりとりが不毛なものに思えてきます。
		今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『目からウロコが落ちる 奇跡の経済学教室 [基礎知識編]』★★ 中野 剛志 ベストセラーズ	お金や経済について、テレビや財務省とは違う見解を与えてくれます。私にはこの本の内容のほうが正しく思えますが、ぜひ、経済について考えるきっかけとして読むことをお勧めします。研究費をめぐる財務省と大学のやりとりが不毛なものに思えてきます。興味がわいたら[戦略編]も是非。
		若者にお勧めしたい本	『ホモ・デウス(上)』★★ ユヴァル・ノア・ハラリ(著) 柴田裕之(訳) 河出書房新社	過去から未来まで全てのことが繋がっているという感覚を与えてくれる名著だと思います。上下巻、結構な分量ですが途中で止められず一気に読んでしまいました。若いうちに読んでおくと世界観が広がるような気がします。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『The Answer』 鈴木 剛介 角川書店	自分は名前が「真理」なので、昔から真理について考えるのが好きなのですが、この本を大学生の頃読んで、自分の真理観、世界観は大きく変わりました。今でもこの本の世界観から抜け出せません。研究をやるきっかけになったというよりは、真理について、物事の本質について、考え続けるきっかけになった本です。

ブ ス 番 号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
10	研究者と立ち話(ポスター/展示) 白眉センター・大学院生命科学研究所・特定助教 林 真理 「テロメアから考える細胞のがん化」	若者にお勧め したい本	『ゲーデル、エッシャー、バッハ あるいは 不思議の環 20周年記念版』★★ ダグラス・R・ホフスタッター 野崎昭弘(訳) 白揚社	大学生の頃、図書館で見つけて、ちょうどエッシャーにはまっていたので読み始めました。かなりの分量と難解さで、最初は途中で挫折しましたが、5年後くらいに自分で買い直して読みきりました。数学、言語記号、生命などを扱った名著だと思います。読んでいて著者は天才だと思いました。時間が沢山ある若いうちに読んでみてください。
11	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院工学研究所・教授 乾 晴行 「炎を制する一超耐熱構造材料」	自分の研究 に関連して紹 介したい本	『金属間化合物入門』★★ 山口正治、乾 晴行、伊藤和博 内田老鶴園	耐熱材料の中のエース、金属間化合物について平易に述べられている。
		今の仕事(研 究、進路)を 選ぶきっかけ になった本	『耐熱合金のおはなし』★★ 田中良平 日本規格協会	高温耐熱材料がいかにCO2削減、省エネルギーに寄与しているか、どのようにして材料設計が行われているのかなどについて初心者にもわかりやすく書かれた本で、非常に感銘を受けた。
		今ハマって いる本(誰かと この本について 話したい)	『元素戦略』★★ 中山智弘 ダイヤモンド社	「材料を制する者が世界を制する。」元素を原子スケールでマニピュレートすることで、これまでになく素晴らしい材料をいかに作り上げるかを考えさせられる。
13	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院医学研究所・教授 高橋 良輔 「疾患モデルの意義とその具体例」	今の仕事(研 究、進路)を 選ぶきっかけ になった本	『稀で特異な精神症候群ないし状態像』 中安 信夫 星和書店	研修医の時に出会った、不思議な症状を訴える患者さん。総合診療科のベテラン医師に相談しようやく候補に挙がった「不思議の国のアリス症候群」を調べるうちに出会った本でした。人間の精神や脳というのはこれほど多彩な病状を示しうものなということに衝撃を受けた覚えがあります。私は脳という物理的な側面からアプローチしていくことを選び脳神経内科医となりましたが、精神科的な側面から見てももちろん興味深い一冊と思われまます。
		自分の研究 に関連して紹 介したい本	『脳の中の幽霊』★★ V・S・ラマチャンドラン 角川書店	中枢神経の障害によって生じる奇妙で興味深い症状の実例を挙げつつ、脳の不思議について紹介・解説されている一冊です。著者自身が神経科学者でもあります。どちらかと言えば心理学的な切り口かつ平易な表現で書かれており、医学的な専門知識が無くとも楽しく読むことができると思います。
		若者にお勧め したい本	『マリー・アントワネットの植物誌:ヴェルサイユ宮殿 秘密の花園』★★ エリザベット・ド・フェドー(著)、アラン・バラトン(監修)、Elisabeth de Feydeau(原著)、Alain Baraton(原著)、川口 健夫(翻訳) 原書房	豪華絢爛な生活や散財で有名なマリー・アントワネットが収集させた世界中の植物が、美しいボタニカルアートと共に紹介されています。また、当時の植物学だけでなく、医学、香水学についても知ることができ、彼女の植物への愛も垣間見ることができまます。眺めるだけでも癒される、美しい本となっています。
14	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院地球環境学・日本学術振興会特別研究員(PD) (現:東京大学教養学部附属教養教育高度化機構・特任助教) 原 裕太 「黄土高原で考える乾燥地の自然とくらし」	自分の研究 に関連して紹 介したい本	『中国の水土流失 史的展開と現代中国に おける転換点』 松永光平 勁草書房	中国史を、自然環境の変化や環境政策の変遷から読み解くと、新たな事実が浮かび上がってくる。本書はまず、黄土高原における砂漠化の原因が、人間活動なのか気候変動なのか、を地形に注目して議論を進める。さらに、現代の風景をつくりあげた砂漠化と、その対処の歴史を、中国国内の研究結果も踏まえて網羅的に紹介する。黄土高原の環境史、地形学を専門とする著者の研究成果をまとめた一冊。
15	研究者と立ち話(ポスター/展示) 学際融合教育研究推進センター・研究員 井出 和希 「研究(者)倫理の今:ハゲタカって何?」	今ハマって いる本(誰かと この本について 話したい)	『ウォークス 歩くことの精神史』★★ レベッカ ソルニット 左右社	日々歩くこと、あたりまえを深く考える
		若者にお勧め したい本	『学問からの手紙:時代に流されない思考』 ★★ 宮野 公樹 小学館	いわゆる「研究成果」とは何なのか、その根底を問う
18	研究者と立ち話(ポスター/展示) iPS細胞研究所・准教授 Knut Woltjen 「合成生物学で、世界をよりよい場所に!」	自分の研究 に関連して紹 介したい本	『ゲノム編集の衝撃「神の領域」に迫るテ クノロジー』★★ NHK「ゲノム編集」取材班 NHK出版	最近大きな話題の「ゲノム編集」について、最前線の情報をまとめた本です。
		今ハマって いる本(誰かと この本について 話したい)	『合成生物学の衝撃』★★ 須田 桃子 文藝春秋	合成生物学のはじまりから現状まで、多くの研究者に取材しています。iGEMのはじまりについても紹介されています。クレイグ・ヴェンターによる「人工的に作成された細菌」の話など、まるでSFですがすべて現実です。
20	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院エネルギー科学研究科・助教 藪塚 武史 「哺乳動物の体を支えるアバタイトの科学」	今の仕事(研 究、進路)を 選ぶきっかけ になった本	『医学生』★★ 南木佳士 文藝春秋	著者が秋田大学医学部で実際に医学生だったころをモチーフにして書かれたとされる名作中の名作。今にして思えば、本書が医学のお手伝いをする「生体材料学」という分野を志すきっかけの一つだったように思います。エリート養成機関が舞台の話には実に泥臭く、切ないエピソードが満載です。人の命をあずかる仕事に就くことの大変さが、内臓をえぐられるかのようなリアルな筆致で描かれています。

ブ ス 番 号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
20	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院エネルギー科学研究科・助教 数塚 武史 「哺乳動物の体を支えるアパタイトの科学」	今ハマっている本(誰かはこの本について話したい)	『土を喰う日々:わが精進十二ヵ月』★★ 水上 勉 新潮社	少年時代、禪寺で育てられた筆者が、軽井沢の仕事場の片隅で畑を耕す中で、四季折々の収穫の喜び、そして心のこもった料理について、まるで土に語りかけるような滋味に富む名文で綴った一冊。
		若者にお勧めしたい本	『世界で一番美しい化学反応図鑑』★★ セオドア・グレイ(著)、ニック・マン(写真)、 若林文高(監修)、武井摩利(訳) 創元社	ベストセラー「世界で一番美しい元素図鑑」「世界で一番美しい分子図鑑」シリーズの続編。本書では物質の化学反応に焦点を当てており、分子はなぜ結合するのか、モノに光を当てるとどうなるのか、さらには水はどのように沸騰していくのかなど、身近な化学現象をカラフルな写真とともにわかりやすく教えてくれます。
		若者にお勧めしたい本	『完全図解 元素と周期表 新装版(ニュートン別冊)』★★ ニュートンプレス ニュートンプレス	日本発祥の新元素「ニホニウム」も掲載されている本書は、化学の基本からそれぞれの元素の特徴、化学物質と日常生活とのかわりについて、膨大な数のイラストを用いてわかりやすく答えてくれます。本書に限らず、写真入りの化学書は実に楽しく、社会人の方や受験生だけでなく、小中学生の皆さんにもおすすめです。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『人類を変えた素晴らしい10の材料: その内なる宇宙を探索する』★★ マーク・ミーオドニク(著)、松井信彦(翻訳) インターシフト	医療、情報、電気、食生活、交通、…私たちは普段何の疑問もなく最新の科学技術を楽しみながら日常生活を送っておりますが、それらを根幹で支えているのが「材料」の技術です。本書では鋼鉄、ガラス、紙、プラスチックなど、陰ながら私たちの生活を支えている10の材料にまつわるエピソードがまとめられています。なお第10章では、高齢者の生活を支援するインプラントについて語られています。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『ヴィジュアルでわかるバイオマテリアル 改訂第3版』★★ 古菌 勉、岡田正弘 学研メディカル秀潤社	現在臨床で使用されているプラスチック系生体材料、セラミックス系生体材料、金属系生体材料のほぼすべての説明がカバーされています。実際の医療現場で使用されている生体材料が写真入りで数多く紹介されています。お医者さんがどのような道具を使って我々の身体を治してくれているのかを知ることができます。
21	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院工学研究科・教授 米田 稔 「放射能と共に生きる！」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『エネルギー・環境・社会 第2版 現代技術社会論』★★ 京都大学エネルギー科学研究科エネルギー・社会・環境科学専攻 丸善出版	この本は、エネルギー・環境問題、事故災害、リスクについて、京都大学の教員が自身の研究を絡めて、一般向けに解説をしている本です。専門用語など極力排除して書かれているため、専門外の方でも理解しやすい内容になっています。
		若者にお勧めしたい本	『生態環境リスクマネジメントの基礎』★★ 浦野 紘平、松田 裕之 オーム社	生態系保全、地域の自然環境保全のためのアセスメントを行う上で必要な知識を、初学者にもわかりやすく解説している良書です。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『土壌汚染 フクシマの放射性物質のゆくえ』★★ 中西友子 NHK出版	この本が出版されてから6年が経ちますが、土壌や農産物の放射能に関する調査研究結果が詳しく書かれており、放射能との向き合い方を考えるきっかけとなる1冊になっています。放射能とは何か、その影響や自然放射線についてもわかりやすく記載されているので、読んでみてください。
23	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院理学研究科・教授 田中 貴浩 「重力波物理学・天文学:創世記」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『学研の図鑑 宇宙』★★ 学研の図鑑 宇宙 学研マーケティング	宇宙すげー、ロケット格好良いなあ、小学校の理科の授業での太陽観測と合わせて、非常に刺激になった。天文ガイド(誠文堂新光社)を買うようになり、下手な天体写真を撮るようになった。
		若者にお勧めしたい本	『科学者という仕事』★★ 酒井邦嘉/中央公論新社 中央公論新社	研究者や業界について様々なことが書いてあり、研究者を目指す人にお勧めしたい本。今でも定期的に読み返す。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『深化する一般相対論』★★ 田中貴浩/丸善出版 丸善出版	重力波の直接検出を始め一般相対論誕生から様々な研究の発展や今後の展望がまとめられている
		自分の研究に関連して紹介したい本	『重力波の源』★★ 柴田大、久徳浩太郎/朝倉書店 朝倉書店	重力波観測によって近い将来検証し得る様々な天体現象について、最新の理論研究に基づいて紹介されている。
25	研究者と立ち話(ポスター/展示) 環境安全保健機構附属環境科学センター・准教授 平井 康宏 「合板の接着剤を1/20に減らす」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『限界を超えて - 生きるための選択』 ドナラ・H. メドウズ、ヨルゲン ランダース、 デニス・L. メドウズ ダイヤモンド社	1972年のローマクラブ報告書「成長の限界」の続編で、地球サミットのあった1992年に邦訳版が出版された本です。当時高校3年生だった私は、それまでの世界観が崩壊するほどの、新鮮な衝撃を受けました。
29	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院薬学研究科・教授 掛谷 秀昭 「自然に学ぶ薬づくり」	自分の研究に関連して紹介したい本	『くすりをつくる研究者の仕事』★★ 京都大学大学院薬学研究科 化学同人	薬づくりに関して、化学系、生物学系、物理系、医療系など、多角的視野からわかりやすく解説している入門書

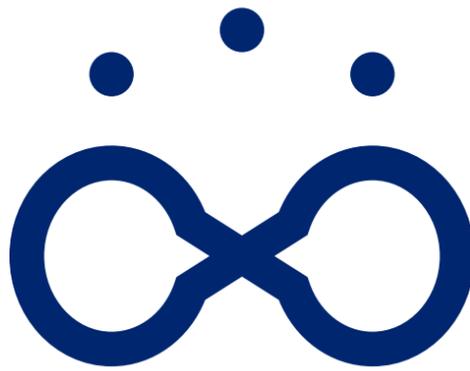
ブース番号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
29	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院薬学研究科・教授 掛谷 秀昭 「自然に学ぶ薬づくり」	自分の研究に関連して紹介したい本	『入門ケミカルバイオロジー』 入門ケミカルバイオロジー編集委員会 オーム社	ケミカルバイオロジーに関する中高生以上を対象にした入門書
		若者にお勧めしたい本	『栄光なき天才たち、続栄光なき天才たち、その後のシリーズ』★★ 集英社	歴史の偉人に関する知られざるエピソードが記載され興味深い。漫画形式なので、小学生高学年から興味を持てるのでは。
30	研究者と立ち話(ポスター/展示) 経営管理研究部・特定研究員 伊藤 智明 「起業家活動の舞台裏」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『企業者ネットワークの世界:MITとボストン近辺の企業者コミュニティの探求』 金井 壽宏 白桃書房	本書の終盤で「原初的狀態のリマインダー」が提示される箇所は、研究者が探究の先で何を提供できるか、を暗示しているように思っています。
		今ハマっている本(誰かはこの本について話したい)	『驚くべき乳幼児の心の世界:「二人称的アプローチ」から見えてくること』★★ ヴァスデヴィ・レディ ミネルヴァ書房	乳幼児が注目に応答していると捉えるか、もしくは、応答していないと捉えるかで、もの見方が転換するのはなぜなのか、興味が尽きません。
		若者にお勧めしたい本	『知的生産の技術』★★ 梅棹 忠夫 岩波書店	探究の道具として使いやすいです。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『3月のライオン』★★ 羽海野 チカ 白泉社	第5巻では、人が人を助けるとはどういうことか、を考えさせられます。
31	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院医学研究科・教授 佐藤 俊哉 「臨床試験を科学するー臨床統計学」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『宇宙船ビーグル号の冒険』★★ A・E・ヴァン・ヴォークト 東京創元社	「ネクシャリスト」とはあらゆる科学の領域について広く浅い知識を持つ専門家で、プライドの高い各領域の専門家の意見を理解し調整し問題解決を行う、ヴォークトが想像した科学の専門家です。臨床統計家は医療に関する幅広い知識と臨床統計学の深い専門性を持ち、臨床試験に関わる様々な職種とコミュニケーションを取って課題を解決しています。専門性もあわせ持った、まさに進化した医療のネクシャリストといいたいでしょう。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『統計学を拓いた異才たち』 デイヴィッド・サルツブルグ 日本経済新聞出版社	今年3月、アメリカ統計協会はさまざまな領域での検定やP値に関する誤解・誤用をなくすため、学会誌のeditorialで「Don't say "statistically significant" (『統計的に有意』は使わない)」と宣言しました。本書ではその検定が生まれた背景が多くのエピソードとともに語られています。特に「significant」という英語の意味が、検定の生まれた当時と現在で変わった(10章)、は衝撃的でした。登場する多くの統計家はbiostatisticiansであり、現在の臨床統計家の源流となった研究者です。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『直観を裏切る数学』★★ 神永 正博 講談社	ものごとを判断する上で直観を信じて行動することはある程度重要ですが、時には直観が全く機能しないこともあります。そんな時に数学を用いて如何に真実を見極めるか、を例を用いて優しく解説している一冊です。
		今ハマっている本(誰かはこの本について話したい)	『みなか先生といっしょに統計学の王国を歩いてみよう』★★ 三中信宏 羊土社	データ解析の講義をする際「数式をどの程度用いるか」は大きな課題です。数式で「正確な」理解をして欲しい気持ちと、直感的な説明で「本質部分を」理解して欲しい気持ちの間で、いつも葛藤しています。本書は、数式の重要性を十二分に理解されている著者が、「現在利用されている統計理論の根幹はすべて直感的に理解できるし、まずはそれをめざすべき」というスタンスで書かれており、講義のバランスを考える際に重宝しています。
33	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院理学研究科・日本学術振興会特別研究員(PD) 小原 脩平 「素粒子から探る物理の世界」	若者にお勧めしたい本	『ご冗談でしょうファインマンさん』★★ リチャード・P・ファインマン 岩波書店	かの有名な物理学者ファインマンの残した自著でユニークな人柄が分かります。高校生以上の方にはファインマンの講義をおこした「ファインマン物理学」もおススメしたい。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『不思議宇宙のトムキンス』★★ ジョージ・ガモフ他 白揚社	一般の方向けに平易に書かれた本で、主人公トムキンスが不思議な物理学の世界を旅していく、非常に読みやすい本。
34	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院医学研究科・教授 伊佐 正 「脳を読み取り、脳を活かす」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『認知哲学ー脳科学から心の哲学へ』★ ポール・M・チャーチランド 産業図書	「脳はどうやってものを物を見ているの?」「体を動かすにはどんな神経回路が必要なの?」難しい問題にもかかわらず、シンプルな神経ネットワークモデルを用いてとてもわかり易く解説している。すでに20年前の発刊であるが、今流行りのAIにもつながる内容であり、今こそみんなに読んでほしい一冊である(医学研究科・武井)。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『計算論的神経科学: 脳の運動制御・感覚処理機構の理論的理解へ』★★ 田中宏和 森北出版	出来上がった学問があるから教科書ができるのではなく、知を体系的にまとめたバイブル的教科書ができることで学問が生まれるものだと思います。この教科書は運動制御の神経科学研究について計算理論からそのハードウェアまで現時点での最新の知見が体系的にまとめられています。これから運動制御の神経科学研究を始める人はもちろん、現役研究者でもう一度体系的に学びたい人にとって必読の書です。(医学研究科・武井)

ブース番号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
36	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院文学研究科・研究員 大庭 弘継 「学問が取り組む『究極の選択』?」	自分の研究に関連して紹介したい本	『資料で読み解く「保護する責任」―関連文書の抄訳と解説―』 中内政貴、高澤洋志、中村長史、大庭弘継編	遠く離れた地域で苦しむ見知らぬ人々に対して私達は何をすべきか―この一見素朴な問いに、研究者は頭を悩まし続け、政策決定者は試行錯誤を重ねてきました。そうした模索から生まれ賛否両論を巻き起こしているのが、本書の扱う「保護する責任」という概念です。皆冷戦終結後の四半世紀に繰り広げられてきた議論の軌跡を、この資料集で確認してみただけであればと思います。全120の資料に翻訳・解説付きです。
39	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院農学研究科・准教授 渡邊 哲弘 「農業って、環境に優しいの?」	自分の研究に関連して紹介したい本	『土とは何だろうか?』★ 久馬 一剛 京都大学学術出版会	「砂漠化」や「土壌劣化」などの言葉がしばしば聞かれるように、自然と人や生き物の営みが見事にバランスされることで育まれた「土」が、今、危機に直面している。「土」の性質や動きを学びながら、21世紀の自然と人の関わりの在り方について考える。
40	研究者と立ち話(ポスター/展示) 学際融合教育研究推進センター・准教授 宮野 公樹 「勉強思考、研究志向、学問思考。」	自分の研究に関連して紹介したい本	『学問からの手紙―時代に流されない思考―』★ 宮野公樹 小学館	大学1、2年向けの講義を分かりやすくした書きお下ろし。学問とは何か、大学とは何かに応える書
		自分の研究に関連して紹介したい本	『フューチャー・オブ・マインド 心の未来を科学する』★ ミチオ・カク NHK出版 NHK出版	科学エンターテインメントとして一つの枠を越えているから
		自分の研究に関連して紹介したい本	『世界文明史の試み - 神話と舞踊』★ 山崎 正和 中央公論新社 中央公論新社	みよ! この網のように滑らかな文章を!
41	研究者と立ち話(ポスター/展示) 医学部附属病院・特任准教授 佐藤 恵子 「これなら安心? 細胞・情報を使う研究」	自分の研究に関連して紹介したい本	『不死細胞ヒーラ ヘンリエッタ・ラックスの永遠なる人生』 レベッカ・スクルート(著)、中里 京子(翻訳) 講談社	医学研究には不可欠な「ヒト由来の細胞」ですが、その細胞を巡るノンフィクションです。ヒトの細胞を使う研究者にはぜひ一読してほしい作品。一市民としては、研究現場の一面を知ることができる作品。いずれの立場からでも、細胞を使う研究はどうあるべきか、を考えさせられると思います。
		若者にお勧めしたい本	『マンガで学ぶ生命倫理: わたしたちに課せられた「いのち」の宿題』★ 児玉聡 文、なつたか 漫画 化学同人	再生医療や脳死臓器移植や、「夢の医療」などと報道されるけど、そんなにパラ色なの? そもそも、脳死ってなんだっけ? 生き死にの問題は、身近なことであり自分で考えなくてはならないのですが、難しいし辛気くさいし、ハードルが高いですね。この本は、女子高生の日常を軸にして、脳死や生殖医療、クローン技術など、生命倫理の問題を学びつつ、考えられるように工夫されています。是非手にとってみてください。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『現代倫理学入門』★ 加藤尚武 講談社	学部生のときに読んで倫理学を学ぶことにしました。現代の社会的問題を考える上で哲学が重要であることを教えてくれる本です。
		今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『137億年の物語: 宇宙が始まってから今日までの全歴史』★ クリストファー・ロイド 文藝春秋	地球が誕生して、生物が生まれ、人間が出現して、文明も争いも起り・・・という物語が「続き物」として語られています。ページを開くだけで時空を超え、好きな時と場所に旅ができる、とても素敵な本です。
42	研究者と立ち話(ポスター/展示) 大学院情報学研究科・教授 湊 真一 「社会に貢献する最先端アルゴリズム技術」	自分の研究に関連して紹介したい本	『超高速グラフ列挙アルゴリズム―(フカシギの数え方)が拓く、組合せ問題への新アプローチ―』★ 湊真一(編)、ERATO 湊散構造処理系プロジェクト(著) 森北出版	最先端のアルゴリズム技術について解説しています。
43	研究者と立ち話(ポスター/展示) 高等研究院・拠点特定准教授 王 丹 「シナプス活動と遺伝情報」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『精神と物質』★ 立花隆(利根川進インタビュー) 文藝春秋	脳は物質ですが、精神がそこに宿ります。脳研究で精神を理解した先駆者が語る分子物理学のパワー
		若者にお勧めしたい本	『理系のアナタが知っておきたいラボ生活の身中 バイオ系の歩き方』★ 野地 澄晴 羊土社	人類を変える発見はラボから生まれることがしばしば。どんな場所が案内してくれる本
		若者にお勧めしたい本	『マウス実験の基礎知識』 小出 剛 オーム社	マウスが脳研究の中でもっとも使われているモデル動物です。とても賢くて可愛らしく、そして、脳研究を支える巨人です。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『ヴィジュアル版 脳の歴史』★ カール・シュノーヴァー 河出書房新社	11世紀イスラムの絵画から最新のMRIグラフィックまで科学的証明と芸術作品の両面から見る脳を描き出した歴史
		今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『脳にいい食事大全』★ ミシェル・ショーフロ・クック ダイヤモンド社	脳神経細胞に食べ物プラスすることで起きる化学反応を医学的/栄養学的の各方面から発想させてくれる本

ブース番号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
45	研究者と立ち話(ポスター/展示) ウイルス・再生医学研究所・特定研究員 曾我部 舞奈 「細胞たちのホームムービー撮影係」	若者にお勧めしたい本	『アリエナイ理科の教科書』 薬理凶宅 三オブックス	中・高校生で。理系科目に興味があって、少し人と変わったこと したいから読んでみようという人にはぴったりだと思います。
		今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『歴史は「べき乗則」で動く』★★ マーク・ブキャナン 早川書房	社会現象から生命現象様々な現象が「べき乗則」というある法則に則っている、という内容です。私たちはサイエンスと歴史、文化を分けて考えてしまいがちなのですが、これを読むと自己組織的臨界がどういうことで、それはあらゆるもの間に見て取れるということを知ることができます。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『動物のお医者さん』★★ 佐々木倫子 白泉社	獣医師を進路に選んだ理由です。実際に獣医師になってみて、漫画の中に出てきたイベントがほぼ実際に存在していたことに驚きました。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『人体～神秘の巨大ネットワーク～』★★ NHKスペシャル「人体」取材班 東京書籍	人体の中の不思議を映像を駆使して明らかにしていく、画期的な内容です。CGだけでなく実際の顕微鏡で得られた画像も掲載されており、とても華麗です。
46	ちゃぶ台囲んで膝詰め対話【午前:10:30~12:00】 大学院医学研究科・日本学術振興会特別研究員(RPD) 野田 智美 「脳画像からみる摂食障害のこころ」	若者にお勧めしたい本	『脳の中の幽霊』★★ V・S・ラマチャンドラン, サンドラ・ブレイク スリー 角川書店	脳の損傷や遺伝的変異により心や行動に奇妙な影響が生じている患者を研究するという方法で、心、知覚、意識、芸術性、自己認識などを脳科学的に解明していく。幻肢痛、共感覚、美と脳など魅力的な題材に満ちています。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『社会化した脳』 村井俊哉 エクスナレッジ	脳について右も左も分からなかった時に読んで衝撃を受けた本です。それまで心理尺度を使った研究しかしたことがなかったのですが、この本がきっかけで本気で脳の研究がしたいと思うようになりました。実はこの本の著者はうちの研究室の教授です！
		自分の研究に関連して紹介したい本	『マインドフルネス 基礎と実践』★★ 貝谷久宜、熊野宏昭、越川房子 日本評論社	マインドフルネスに関する概念、研究、実際の臨床への応用まで幅広く網羅している本です。特にマインドフルネスによって変化する神経基盤が分かりやすくまとまっていて読みやすいです。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『みんなで学ぶ過食と拒食とダイエット』★ 切池信夫 星和書店	摂食障害は、ダイエットが発症の契機になることもあり、決して珍しい病気ではありません。病気の予防や回復には正しい知識を得ることが重要です。摂食障害の疫学や症状の説明、患者さんや周囲の人々が気をつける点がわかりやすく記されています。
47	ちゃぶ台囲んで膝詰め対話【午前:10:30~12:00】 福井謙一記念研究センター・リサーチフェロー 榊 茂好 「化学と理論と計算化学」	若者にお勧めしたい本	『現代化学史:原子・分子の科学の発展』 ★★ 廣田 襄 京都大学学術出版会	現代の化学の歴史をわかりやすく書いている。とくに、化学はミクロな世界の出来事ですが、それを知るためには量子化学が必要です。そのような観点から化学の歴史が書かれており、面白く読めると思います。
49	ちゃぶ台囲んで膝詰め対話【午後:13:00~14:30】 大学院人間・環境学研究科・教授 立木 秀樹 「イマジナリーキューブ・パズル」	自分の研究に関連して紹介したい本	『正多面体を解く』★★ 一松 信 東海大学出版会	多面体の中にこれだけ面白い構造があることを、一般の人にも分かりやすく、また、数学的に曖昧にすることなく書かれていることに感銘を受けました。
		今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『岡潔—日本のこころ』 岡 潔 日本図書センター	日本を代表する数学者のエッセイ。生きるとはどういうことか、考えさせられました。
50	ちゃぶ台囲んで膝詰め対話【午後:13:00~14:30】 大学院医学研究科・講師 魚住 龍史 「くすりの効果を評価する。統計学の研究」	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『学会・論文発表のための統計学—統計パッケージを誤用しないために』★★ 浜田 知久馬 真興交易医書出版部	私が学部生のときに読んで、医学統計学を学びました。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『生存時間解析 応用編:SASによる生物統計』★★ 大橋 靖雄, 浜田 知久馬, 魚住 龍史 東京大学出版会	私も共著者として執筆した本です。本日の研究に関連したトピックも網羅されています。生存時間解析に従事する実務家を目指す方にとって有益な1冊であると確信しています。
		自分の研究に関連して紹介したい本	『宇宙怪人しまりす医療統計を学ぶ』★★ 佐藤 俊哉 岩波書店	本学の医学研究科の先生が執筆された本です。私の研究では、「生存率」「死亡率」といった統計用語を取り扱うことになりましたが、それらの用語の定義を再考するきっかけにもなります。医療統計学を学習する方が読むべき1冊といえます。
51	ちゃぶ台囲んで膝詰め対話【午後:13:00~14:30】 人文科学研究科・研究員 芹澤 隆道 「敗者の視点から歴史を見る」	自分の研究に関連して紹介したい本	『三つの新体制』★★ W. シヴェルプシュ 名古屋大学出版会	アメリカのニューディールとドイツのナチズムの共通性をあぶりだした野心的著作。経済的危機によって左派勢力と右派勢力が融合し、全体主義的な体制が構築される。現在のグローバル資本主義と世界各地で権力を振るう独裁者の相関性にも適用可能。

ブース番号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』/著者名/出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
トーク企画「研究者、自著を語る」 人文科学研究所・助教 池田 さなえ	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『伊藤博文と明治国家形成—「宮中」の制度化と立憲制の導入』 坂本一登 講談社	本書では、濃厚にキャラ立ちした一筋縄ではいかない明治政府の政治家たちとの駆け引き、明治10年代に政治主体として成長してきた「宮中」の攻防の中で、苦悩しながら内閣制度創設・明治憲法制定という大業を成し遂げた伊藤博文の姿を軸に明治政治史が描かれます。高度に緻密な実証を葆ちつつ、人間ドラマとしての面白さもある、このようなものが書けたらなあと思いつつながら研究を進めてきました。	
	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『歴史は現代文学である』★★ イヴァン・ジャブロンカ著、真野倫平訳 名古屋大学出版会	「歴史研究者も文学的な文章を書きたいし、書くべきだ」こんなことを考えるのはタブーだと思っていました。その思いを胸に秘めたまま、自分が異端者のように感じながらも、「いつかできないか」「どうすればできるか」と思いながら研究を続けてきましたが、昨年、その問いに直球で答えをくれる本が日本にもやってきました。私の問いは既にこの人が抱き、答えを出してた！とにかくすごい。	
	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『物語の役割』★★ 小川洋子 筑摩書房	「推薦図書1」で紹介した坂本先生からお勧めいただいた一冊です。歴史叙述と文学性についてあれこれ考えていた中で、坂本先生とも意気投合し、その際にこの本を教えていただきました。ジャブロンカ『歴史とは現代文学である』とも通じますが、作家・小説家の営みが意外に歴史学の方法と近いことを実感させられ、歴史学の新たな可能性を考えさせられました。	
	若者にお勧めしたい本	『進撃の巨人 1～29巻』★★ 諷山創 講談社	言わずと知れた名作。唐突のように投げ込まれる年号が物語の中で重要な意味を持っていること、「巨人」というよくわからない生き物を「調査」する兵団、彼らを動かす歴史への問い(調査兵団団長の父は歴史の教師であった)、記憶の改ざん、歴史認識をめぐる国と国との根深い争い、物語の鍵を握る人物「ヒストリア」—この作品は「歴史」を一つの重要なテーマとしていることが一目瞭然です。歴史を考える良書です。	
	自分の研究に関連して紹介したい本	『皇室財産の政治史—明治二〇年代野御料地「処分」と宮中・府中』★★ 池田さなえ 人文書院	歴史学の学術的水準と文学性を両立させるといふ一つの試みの、とりあえずの帰結です。一度は破れた夢をいつまでもおいかけてい「やじ」(品川弥二郎)、自らの知識や経験を实地に活かしたい技術官僚たち、「宮中」の自律性を保ちたい宮内官僚たち、彼らの中でフィクサーとなりながらその時々政治的必要性によって動く政治家たち—彼らのうごめきや人間模様をこそ、見ていただきたい！	
トーク企画「研究者、自著を語る」 東南アジア地域研究研究所・連携講師 外山 文子	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『民主化の虚像と実像—タイ現代政治変動のメカニズム』★★ 玉田 芳史 京都大学学術出版会	修士課程および博士課程でお世話になった恩師の著作であり、自分が博士論文を仕上げ、初の単著を執筆するまで常に傍らに置いてきた作品。1990年代から2000年代初頭のタイ政治を理解するための必読の本。	
	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『ポピュリズムとは何か』★★ ミュラー・ヤン=ヴェルナー 岩波書店	世界的に政治指導者のポピュリズムが目目されているが、ポピュリズムが何を意味するのか、なぜ非難されるのかについて曖昧なままに用語が独り歩きしている。ポピュリズムのもつ危険性について鋭く切り込んだ名著	
	若者にお勧めしたい本	『アジア冷戦史(中公新書)』★★ 下斗米 伸夫 中央公論新社	今の大学生たちにとっては、冷戦とは遠い昔のことだろう。しかし、21世紀のアジア政治を理解するうえで、冷戦期の国際情勢が各国に残した傷跡を無視することはできない。過ぎ去った過去のことと片付けずに、改めて冷戦について学んでもらいたい。	
	自分の研究に関連して紹介したい本	『21世紀東南アジアの強権政治—「ストロングマン」時代の到来』★★ 外山 文子ほか 明石書店	東南アジア政治に関する教科書は多数出版されているが、21世紀の東南アジア政治について包括的に分析を試みた著作はあまりなかった。本書は世界的注目を集める強権的政治指導者の登場に焦点を当て、彼らを通じて各国の政治構造を明らかにしようと試みた意欲作。	
お茶を片手に座談会 白眉センター・文学研究科・特定准教授 田中 祐理子	今の仕事(研究、進路)を選ぶきっかけになった本	『正常と病理』★★ ジョルジュ・カンギレム著、滝沢武久訳 法政大学出版局	健康と病気、正常と異常、規範と逸脱といった概念を、私たちは固定された本来的なもの信じこんでいるのではないかと私たちが生きる姿を眺める新しい視点を与えてくれる本です。	
	今ハマっている本(誰かとの本について話したい)	『アラン定義集』★★ アラン著・神谷幹夫訳 岩波書店	近年『幸福論』が話題のアランですが、その次の一冊としてぜひ読みたい一冊です。20世紀前半を生きた哲学者が、「科学的に考える」ということ、もうひとつの可能性を現代の私たちに教えてくれる本です。	
	若者にお勧めしたい本	『エルサレムのアイヒマン—悪の陳腐さについての報告』★★ ハンナ・アレント著・大久保和郎訳 みすず書房	若い人にはアレントの本ならどれでも読んでほしい。そのあと、彼女の生涯についても知ってほしい。どうやって彼女が第二次大戦期のヨーロッパを生き延び、そして戦後のアメリカで生き続けたのか。それをたゆまずに求め、そのために行動し続けなくては、理性的な近代型社会などいづつも崩壊しうるといふ事実をこれだけしっかり受け止め、後世に教えてくれたひとはいない。	

ブ ス 番 号	出展者等	推薦図書		
		ジャンル	『書名』／著者名／出版社名	推薦理由、コメント、エピソード等
	お茶を片手に座談会 白眉センター・文学研究科・特定准教授 田中 祐理子	自分の研究 に関連して紹 介したい本	『病む、生きる、身体 の歴史—近代病理学 の哲学』★★ 田中祐理子 青土社	すみません、今年の春にこのような本を出したので紹介させてください。病氣と身体について、長い歴史を通して人間はどう考えてきたのか？を探ってみました。
	お茶を片手に座談会 総合博物館・准教授 塩瀬 隆之	今の仕事(研 究、進路)を 選ぶきっかけ になった本	『デザインの知恵 情報デザインから社会 のかたちづくりへ』 須永剛司 フィルムアート社	我が国に情報デザインの教育課程を体系的に整備した第一人者による渾身のテキスト。人工知能研究や認知科学研究が注目を集めた当時、形のない情報に対して「デザイン」の概念を先鋭的に持ち込んだそのプロセスが詳細に描かれている。
今ハマってい る本(誰かとこ の本について 話したい)		『「想い」と「アイデア」で世界を変える』★ ★ 中台 澄之 SBクリエイティブ	モノが自由に捨てられない時代のものづくりを考えるきっかけになった本。中国の廃プラスチック輸入禁止を契機に、隣の国にゴミを捨てるといふ不完全なリサイクルの問題が浮き彫りになり、根底からものづくりを考え直さないとはいけない。	
若者にお勧め したい本		『まなざしのデザイン』★★ ハナムラチカヒロ NTT出版	ものごとをとらえるのは「まなざし」である。どのような観点から物事をとらえるか、そのお互いの観点をいかに目線を合わせいくか、風景異化という概念を提案しながら読者を誘う著者自身のデザインの仕掛けが散りばめられた書籍。	
自分の研究 に関連して紹 介したい本		『インクルーシブデザイン』★★ ジュリア カセム、平井 康之、塩瀬 隆之ほか 学芸出版社	多様な人がありのままいることができる豊かなインクルーシブサイエティを実現するにあたって、日本に持ち込まれたデザイン手法の入門書。第一人者のジュリアカセム氏、平井康之氏を筆頭に、その概念が生まれた背景から具体的手法まで網羅されている。	
	お茶を片手に座談会 白眉センター・人間・環境学研究科・特定助教 鈴木 雄太	今ハマってい る本(誰かとこ の本について 話したい)	『はたらく細胞』 清水 茜 講談社	体の中でそれぞれの細胞がどのような働き・役割を果たしているのか、を擬人化した作品。病原体などが怪人化・モンスター化され、細胞との攻防戦を繰り広げる。複雑な体内の仕組みを分かりやすく描かれているため、容易に理解することが出来ます。覚えることが多くて、細胞生物学はとっつきにくいと考えている人にオススメです。(特に漫画よりアニメがオススメです！)
今ハマってい る本(誰かとこ の本について 話したい)		『Dr. Stone』★★ 稲垣 理一郎 集英社	世界中全ての人類が一瞬で石化される。その数千年後、運よく復活した主人公たちが原始化してしまった世界において、ゼロから現代の文明まで作ってしまおう！+石化の謎を解明し人類を復活させよう！という壮大なSF科学漫画。中学、高校で学んだことのある多くの化学が出てくるので、一度化学を学んでいる人にはなんとなく懐かしく、まだ学んでいない・嫌いで何も覚えていない人も化学ってすごい！と思える一冊。ここ最近、特に飛躍しすぎていく気もしなくもないが面白いので問題なし！？	
若者にお勧め したい本		『キングダム』★★ 原 泰久 集英社	知らない人はいないといっても良い超大人気漫画ですね。舞台は春秋戦国時代末期。現代社会と状況は全く異なりますが、社会の理不尽さという逆境を乗り越え成長し、「天下の大將軍」を目指している主人公の生き様は、これから将来を担っていく若者に参考になるのではないかと思います、「若者にお勧めしたい本」に挙げさせていただきます。	
自分の研究 に関連して紹 介したい本		『ワンピース』★★ 尾田 栄一郎 集英社	こちらも知らない人はいないといっても良い超大人気漫画ですね。…なんで「自分の研究に関連して紹介したい本」で『ワンピース』と思われるよ(笑)。私の研究は、タンパク質に人工デザインを取り入れることで、これまでにない機能性を有したタンパク質集合体「バイオナノロボット」の創生を目指しています。ワンピースで「人間+悪魔の実=超人」というところが、「タンパク質+人工デザイン=バイオナノロボット」と共通していると考え、紹介したい本とさせて頂きました。想像力(創造力)という点でインスピレーションを受ける一冊です。研究=難しい…と思う方も、こういった考え方をすると楽しくなるかもしれません。推薦図書が全て漫画ですが、研究ではちゃんと論文読んでいます！	



Dialog with the Public



生協ショップルネ書籍コーナーにて「研究者の本棚」関連コーナーを設置しています！
是非お立ち寄りください！

(場所：京都大学西部生協会館ルネ1階)